

February
2.15

1998
No. 717

小田原

広

報



発行 小田原市
小田原市荻窪300番地
☎ 250-8555
編集 広報社総課
☎ 0465(33)1261
☎ 0465(32)4640
(毎月15日発行)



木のぬくもりを感じて

伝統を伝え、新しい感性を注ぎ込む人たちが

このまちには生きている

●主な内容

- ◆木のぬくもりを感じて.....2
- ◆オンドラシエク合戦図.....4
- ◆木製品展示など.....5
- ◆小田原の和菓子.....12

木のぬくもりを感じて

— 伝統を伝え、新しい感性を注ぎ込む人たち —

このまちには、伝統的な技術を受け継いだ木製品作りの職人がある。自然からの恵みに人の手を加えることで、新たな命を注ぎ込むかのような。そしてまた、この伝統に新しい感性を加えて、自分なりの作品を作ろうとしている芸術家や若者もいる。

長い歴史の中で築かれた伝統・技術が、今も生き続ける小田原のまちだからこそ、こうした人たちの姿を目の当たりにできるはず。

「木」というものを通して伝統を伝え、そしてそれを受け継ぎ、創造する人たち。それぞれの思いが、明日の小田原へ伝えられていく。

木製品の展示会など
5ページをご覧ください

ほれこむことゝ 進歩のコツ 木象嵌

木象嵌は、まるで木で作った絵画のようなデザインにあった色の木を選び、2枚の板を重ね合わせ、板に下絵をかくて木工用糸のこぎんこで挽き抜き、はめ込む。その後、薄く削り、箔に貼り付けたり、絵こてで飾ったりする。薄く削るのは小田原独特のもの。

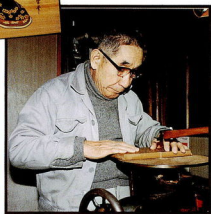
▼楠・水木・森・青杉・黒松・香木・桜など35種類もの木を使って作られている木象嵌。もともとは、箱などに貼り付けていた。馴染したのは内田さんが最初。内田さんの作品は浮世絵をもとにして作られた古典調のものが多い。



内田定次さんは「木象嵌の魅力は木の色で作品をイメージし絵を作ることができること」と話す。現在、近隣で木象嵌に取り組み職人は内田さんを筆頭に6人。基礎は教えるが、それからはやる気次第。好きになることが進歩のコツ。みんな素質がある。もっと多くの人に木象嵌を知ってもら



▼従来の古典調のものとは異なり、自動車など斬新なデザインに取り組んでいる



写真右：内田定次さん・左：遠藤健太郎さん



自分が認められるいい作品を作ることができる。木象嵌をPRするところから、今が薄く削るのが主流だが、これからは立体的な作品を作ってみよう。

自分が認められるいい作品を作ることができる。木象嵌をPRするところから、今が薄く削るのが主流だが、これからは立体的な作品を作ってみよう。

「人に関心するのは好きではない。自分で苦勞しながら作るの新しい」と語る遠藤さんは、これまでない新しいデザインにも取り組んでいる。「それぞれの木が持つ自然の色を自分のイメージに合わせ、組み合わせるところが魅力。今は薄く削るのが主流だが、これからは立体的な作品を作ってみよう。」

そんな寄木に魅せられ、寄木職人の道を運んだ若者たちが、小田原のまちで働いてい。もらった景品や土産物屋で寄木の美しさに感動して職人を目指した人もいれば、宮大工であった父の影響で木に興味をもった人もい。そして、大学でデザインを学びながら、寄木のもつ伝統と独創的なデザイン要素の調和に魅せられた人も、寄木を始めたきっかけも経年数も異なる

うためには、土産物ではない、なにか新しいものを作らなければ。」

60年もの間、木象嵌作りに挑みつづけた内田さんの技を受け継ぐのは、50歳も年齢が違ふ遠藤健太郎さん。

平成4年、市は後継者育成奨励金制度を設け、木象嵌細工の後継者を募集した。これが、遠藤さんと木象嵌との出会いである。

木象嵌を知っていたわけではなかった。「自動車の部品製造の仕事をして、手が先が器用だったこともあって、自分で何かにチャレンジしてみたいと思ったのだという。」

「伝統の中に生きる独創性に魅かれて(寄木細工)さまざまな色の木片を組み合わせて、この表面を特別な艶で削る。すると、金太郎始と同じ原理で、紙のように薄く美しい模様の板が何枚もできる。この薄い板を木製の器や箱などに貼っていくことで、寄木細工は作られていく。むくの木片をそのまま使った寄木細工の製品もある。模様の種類は、木片の組み合わせ次第で無限にあるという。」

「自信作はないんです。必ず、レコが気に入らないところがあるんです。話ばかりからは、後継者としての気負いは感じられない。」

とつながる」とも。



る彼らだが、
「木のぬくもりを残しながら、自分なりのデザインを製品として創り出せることが何よりの魅力。」
そうしたい人は誰も
が共通して抱えている。

彼らの上司で



あり、寄木職人の先輩でもある露木清隆さんは言う、「自分は親の職業を継いで寄木に関わったところが彼らは親の職業を継いでいるわけでもなく、自ら望んで寄木細工に携わっている。そこが彼らと私の決定的な違いだ。」

◀外側からは分からない組み合わせの存在が、
組木細工の大きな魅力

いい作品を作るには 伝統を守ることに、組木細工

組木を説明すると「伝統的な木製立体パズル」という表現が適切なのだろうか。組む前の木片の寸法を正確に計り出していくところに組木を作る難しさがあるという。



組木職人5代目の山中忠明さんは、「温かみのある手ざわりが好き。切り出された木を見て、生き生きとした原木を思い描いてしま」と、木の魅力を語る。また



▶動物の形をした組木細工。分解し、再びものと姿にできるときには、きっと笑顔に。



山中忠明さん

100年生きた木で作ったら 100年使え

「中央公民館の日曜大工教室で16年もの間、講師を務めた。指物師として後継者を育てると同時に、木というものをあまり知らない人に伝えていくことが、伝統を守ることに通じると思う。そして、「100年生きた木で作った物は100年使え」と教えた。それを、この使い捨て時代の中で伝えるのも私の役割。」



▲身近な小田原指物として、ペン立てやおもちゃなどがある。

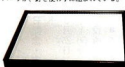


近藤敏雄さん

指物は木材を組み合わせて作る、箱やたんすなどの製品を言う。

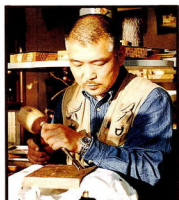


▲近藤さんが作った神輿、3600もの木製パーツが、釘を使わずに組まれている。

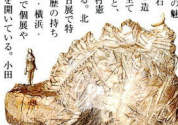


▲全国の博物館や大学で使われている模本ケースにも、小田原指物の伝統技術が生きている。

小田原の魅力は 素材が全てであること



北村清司さん



「小田原の魅力は、木と石と漆造など造形の素材が全てあること」と、彫刻家、北村清司さんは語る。北村さんは、日展で特選受賞の経歴の持ち主で、東京、横浜、小田原などで個展やグループ展を開いていく。小田原の持つ潜在性にとりつかれ、2年前から市内で創作活動に取り組んでいる。同時に、木製品作りの伝統を受け継いだ仲間と知恵を出し合い、「伝統工芸と彫刻の融合」に挑戦中である。

「芸家は、とかく西洋を目標にしがちだが、歴史は大切なもの。日本が行き着くところは、木（和）の文化だと思う。伝統工芸の技術と彫刻家の創造力を合わせれば、きっと新しい提案ができるはず。それを世界に発信できたらずばいいですね。」

未来への夢は大きく膨らんでいる。

▶月をモチーフにし、木とブロンズを使った作品「希望」。「人間は自然から見ると小さなものだ。しかし、さまざまな想いを抱いて生きている」ことを表現しているのだという。



春の風がヨーロッパから 天使の歌声をはこんでくる



チェコ共和国、ヨーロッパ大陸の中央に位置し、中世の芸術・文化が色濃く残る歴史のまちから、40人の天使たちが小田原にやってきました。首都プラハから東へ約500km、ノヴィイ・ビツェ市に1967年に設立されたオンドラシェク合唱団は、ベルギー、イタリア、ドイツなどヨーロッパ各地での演奏を始め、アレックソ国際合唱コンクール（イタリア）第1位、ラ・フロンテール国際フェスティバル（イギリス）第1位など、世界的にも高い評価を得ています。今夏は35歳から18歳までの選抜メンバー40人が初来日。市内各地でコンサートや交流事業を行います。その澄んだ響きの中に、遠かき遠い東欧の文化を感じてみませんか。

小田原青少年 国際交流コンサート

チェコと小田原の青少年たちが国境を越えて交流を深め合うジョイントコンサート。

出演 オンドラシェク合唱団 小田原青少年少女合唱隊、南足柄ジュニア・コーラス、小田原ジュニア吹奏楽合奏団、相洋高校和太鼓部

日時 3月27日（金）午後6時30分開演
場所 市民会館大ホール
入場料 1000円（全席自由）

前売り 文化交流課（市役所4階）、井上楽器、大村楽器リベルテ店で販売

チェコ・オンドラシェク合唱団 & 小田原青少年少女合唱隊
春のミニコンサート

ちょっと意外な場所でのコンサートをお楽しみください。入場は無料です。

ようこそ！ チェコ・オンドラシェク 合唱団

◆チェコ・オンドラシェク合唱団来日記念・市民ロビーコンサート

日時 3月25日（水）午後0時20分～50分

場所 市役所2階市民ロビー

◆Dear Earth's 生命の星・地球博物館コンサート

日時 3月26日（木）午後1時～1時45分

場所 生命の星・地球博物館

◆桜の花が歴史の華か、小田原城銅門オープン記念コンサート

日時 4月2日（木）午後1時30分～2時15分（雨天中止）

場所 銅門（城址公園内）
文化交流課 ☎331703

小田原青少年少女合唱隊
35周年記念演奏会

小田原青少年少女合唱隊35周年記念演奏会でもオンドラシェク合唱団の歌声を披露します。

日時 3月28日（土）午後2時開演

場所 市民会館大ホール
入場料 2000円

②日時 3月29日（日）午後2時開演

場所 東京・カザルスホール
入場料 2500円

小田原少年少女合唱隊・内田 ☎378658

市長随想

ゆつくり食べよう！
文 小澤良明

「もう少しゆつくりと食べなさいよ」「お前にそんな食べ方を教えたつもりはないのに……」私が家族みんなと夕食を共にするときは減多にないのだが、そんな時に限ってのつけから母が文句を言う。どうも少しずつで品のない食べ方が目立つらしい。

大勢の方々とのお会食や短時間に何ヶ所かの席を渡り歩くような機会が多いせいか、何時の間に、寸暇を惜しんで口に放り込む、飲みくたす、品が悪いという図式が板につき過ぎてしまったのか。

野もい不便な生活で、仕事のため……とか偉そうなことを言うつもりは全くない。大なり小なり全国の首長が日常的に繰り返している食べなければならない時に食べられないということに起因する悪習である。



木の魅力

Mokutture

あなたのウッドクラフト展

市民の皆さんから寄せられたアイデアと、小田原木製品を製作する青年たちの技術がひとつになり、すばらしい木工作品ができました。アイデア募集から半年。発案者と若手職人の共同作業で創られた作品をご覧ください。

日時 2月20日(金)～22日(日)
午前10時～午後8時
場所 イトーヨーカドー
■箱根物産委員会 ☎2248996



湘南ウッズマン小品展
生活の道具としての木製品

皿、鉢、鉢など日常的な食卓洋品を題材に、小田原の若手木工芸家グループが新作を発表。木目を生かした、色彩にも工夫を凝らしました。

日時 2月23日(月)～27日(金)
午前9時～午後5時
場所 市役所2階ロビー
■商工課 ☎331515



おだわらの木
おだわらのフォルム展

小田原市の木「うら松」を使った工芸家、彫刻家、市民アーティストたちの作品展。1辺30cm四方の「うら松」に、それぞれの思いを自由に表現した作品83点を展示します。

日時 3月5日(木)～9日(月)
午前9時～午後4時30分
場所 工芸技術センター(小田原警察署隣)
■彫刻芸術と伝統工芸展実行委員会事務局 ☎320188



木製品フェア'98
ウッドクラフトコンペ

日時 3月6日(金)～8日(日)
午前9時～午後5時
場所 市民会館
内容 伝統工芸品展示会/木象嵌、寄木、漆器の実演/木工体験(こけしの彩描・組木の組み立て・秘密箱に挑戦など)/木製品の展示、即売、抽選/Mokutture 展入選作品展示

■商工課 ☎331515



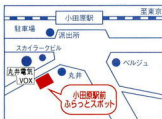
ご利用ください 駅前ふらっとスポット

小田原駅前と国府津駅前のふらっとスポット窓口コーナーでは、早朝・夕方・土曜日でも、住民票などの発行ができます。なお、印鑑証明、身分証明、税証明の発行には、事前に戸籍住民課への電話予約が必要です。

また、窓口コーナーは証明書を発行するところですので、印鑑登録や戸籍の届出、転出・転入届などはできません。ご注意ください。

駅前ふらっとスポット 窓口コーナー開設日時

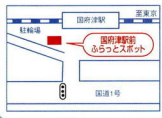
- 月～金曜日 午前7時30分～午後7時
- 土曜日 午前8時30分～正午
- ・小田原駅前 ☎24-3731
- ・国府津駅前 ☎47-2133
- 戸籍住民課 ☎33-1381



生涯学習室をご利用ください

小田原駅前と国府津駅前のふらっとスポットには生涯学習施設があります。国府津駅前ふらっとスポットの生涯学習室は個人利用もできます。電車をお待ちの間の読書や友達との勉強会などにもご利用ください。

■社会教育課 ☎33-1721



先輩や友人達にも「いい加減に仕事を整理しろ」「身体を粗末にするな」「余力がないリーダーは失格」とまで言われ、それらもつともな話と思いつつも、仕事が好きで、人が好きで、体力にまさけて己の健康と引き替えにやたらガツバる全国首長の代表選手のような私なのである。

そんな生活の中で当然のことのように食・衣・住・品・娯楽・交際・たのび・くたがら、すべてが「仕事」の延長線上にあり、人生は「仕事」の連続である。早くい早〇〇芸の内、と戦国武者ならぶ誇りつた場所であるから、人様とお逢いする場では全て仕事、と日々常磐戦場の気分である私からすれば、母に叱られたことも私ならぬの恥かき、と要に自分をなぐさめたいような気もするのだが、妻や子供達までもが、そうだ、と大合唱では、いくら聞き直っている私でも気にせざるを得ない。身体髪膚これを父母に受く、で、食べ方だけでなく健康のことまで心配されながら母に強く言われることまでである。しかし逆に、悪習を身に負いながらも奮闘努力している我が身を秘かに「愛おしい」と思うこともある。一人でも多くの人と接触し、交流を深めることがこれほど大切なと確信を持つからである。有森裕子さんではないが、何時の日に「自分を誇めてやりたい」と言えるようになるかも、と母の心配をも頼み、微もしないでガンバルマンを続ける私でもある。

どちらにしろ「ゆつくり食べよう」と心に言い聞かせる今日この頃である。

共同募金運動の結果

平成9年度10月の「赤い羽根」の一般募金は、2,041万5,186円、年末たすけあい募金は、1,283万8,196円でした。

一般募金は、神奈川県共同募金会に送られ、県内の社会福祉協議会や社会福祉施設、福祉団体などに配分されます。年末たすけあい募金は、本市社会福祉協議会の配分委員会で次のように配分されました。ご協力ありがとうございました。

配分対象・金額

- 準要保護世帯 523世帯 426万8,000円
- ねたきり老人の介護者 363人 363万円
- 痴呆性老人の介護者 105人 105万円
- 精神薄弱者（重度・最重度）の介護者 275人 275万円
- 身体障害児（1級・2級）の介護者 72人 72万円
- 社会福祉施設 9施設 45万円
- 配分留保額（平成10年度へ）73万円
- 社会福祉協議会 35・4000

飯田岡土地区画整理地内の住宅地を売却

飯田岡土地区画整理事業区域内の保留地を公開抽選により売却します。

詳しい案内は、現地の事務所で配布しています。

- 区画 3区画（1区画約123㎡）
- 申込期間 2月20日（金）～25日（水）
- 飯田岡土地区画整理組合（飯田岡73-1）
- ☎ 37-5581 都市整備課 ☎ 33-1593



中小企業退職金共済掛金に補助

市は、中小企業で働く方たちの雇用の安定や福祉の向上のために、中小企業退職金共済、または特定退職金共済に加入している事業主に、共済掛金の一部を補助しています。

補助金交付期間は、共済制度に新規加入した月から3年間（平成6年2月以降に加入）です。忘れずに申請してください。小規模企業共済制度はこの制度の対象ではありません。

受付期間 2月24日（火）～3月10日（火）
※今回の受付対象は平成9年1月～12月の12か月分。受付期間は守ってください。

■商工課 ☎ 33-1513

人権相談所を開設

日時 3月3日（火）午後1時～4時
場所 小田原ビブレ
内容 家庭内や隣近所のもめごと、相続・離婚・扶養、いじめなど

■横浜地方支局小田原支所 ☎ 23-0181

農地法の許可申請書など提出期限が変わります

農地法の許可申請書などの提出期限は、これまで前月末日でした。3月の農業委員会審議分から、提出期限を当月5日から10日に変更します。市街化区域内農地の転用届出の提出期限は変わりません。締切日が土・日・祝日の場合は、前日締め切りです。

（例）3月審議分の締め切り

従来 2月27日→今後 3月10日
■農業委員会 ☎ 33-1748

国民年金保険料の前納保険料が安くなります

平成10年度（平成10年4月～平成11年3月）の国民年金保険料は、1か月13,300円です。4月中に、1年分または前期6か月分（4～9月分）を、後期6か月分（10～3月分）を10月中一括して納めると、表のとおり保険料が安くなります。

前納されている方で、新たに口座振替を希望する方は、預金通帳・印かん・年金手帳を持って、銀行で手続きをした後、3月6日までにご連絡ください。また、前納を新たに希望する方や、口座振替を希望する方も、3月6日までに保険年金課に連絡をしてください。

前納保険料の納期は4月30日（木）です。

■保険年金課 ☎ 33-1867

納付方法	金額	合計	割引額
毎月納付	定額	平成10年4月～11年3月 月額 13,300円	159,600円
	付加	上記金額に月額400円 年額4,800円を加算	164,400円
	1年前納	定額 年額 155,750円 付加 年額 160,430円	3,850円 3,970円
6か月前納	定額	4～9月分・10～3月分 78,920円	880円
	付加	4～9月分・10～3月分 81,290円	910円

市民プラザ

●中国語研修会・第2の世界語
ニハオからのSTEP

会員を募集します。
日時 毎月第3水曜日午後6時～
場所 尊徳記念館
会費 無料
申込 尾崎 ☎ 36-4995

●水彩画教室

日時 毎月第1・3水曜日午前10時
時～正午
場所 中央公民館
会費 月2,500円
申込 島居 ☎ 34-4688

固定資産課税台帳の縦覧

日時 4月1日（水）～20日（月）午前8時
30分～午後5時（土・日は除く）
場所 資産税課（市役所2階）

資産税課 ☎ 33-1361

●米町駐車場をご利用ください●

料金 最初の1時間 300円
以降30分ごとに100円
米町駐車場 ☎ 24-7007

お知らせ

びんの出し方

びん類は、現在、資源として月1回収集しています。ガラスびんは、中身の品質をしっかりと守るばかりでなく、使用後にも洗って再利用したり、道路の路盤材などとして活用ができるため、リサイクルの優等生と言われる、環境にやさしい優れた容器です。中でも、ビールびんなどのリターナブルびんは丁寧に扱うと20回から30回も繰り返し活躍します。

そこで、市で収集する以外に、小田原小売酒販組合加盟店など（店舗に「エコストア協力店」のポスターを掲示）の協力で、ビールびんの店頭回収をさらに進めることになりました。ビールびんは、お買い求めになった酒屋さんなどの「エコストア協力店」にお持ちください。また、店舗によっては、一升びんなども取り扱っている場合がありますのでお問い合わせください。

なお、市の収集やエコストア協力店にびんを出す時には、キャップや栓は必ず取りはずして出してください。

<びんの日に使えるもの>

- ・湯飲みや茶碗などの瀬戸物・陶磁器は「燃せないごみ」
- ・飲料以外の化粧品のびんは「燃せないごみ」

環境総務課 ☎ 33-1471

障害者の歯科検診

●重度心身障害者歯科検診

日時 2月26日(木) 午前9時30分～正午

場所 保健センター

内容 歯科検診と相談・指導

☎障害福祉課 ☎ 33-1467

●歯科二次診療所

一般の歯科医院で治療が困難な障害者の方がご利用できます。診療は予約制。電話で直接申し込んでください。

予約受付 月～金曜日午前9時～午後4時30分（金・土・日曜、祝祭日は休診）

場所 南鶴宮2-27-19（県営住宅ベアーハイム鶴宮2階）

対象 小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町にお住まいの障害をお持ちの方

☎歯科二次診療所 ☎ 48-6775

就職相談会

今春卒業の学生、中途退職者を問わずご参加ください。小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡・下郡を中心に企業が多数参加し、説明・面接などを行います。

日時 2月24日(火) 午後1時～4時

場所 中央公民館

☎商工会議所 ☎ 23-1811

公共職業安定所 ☎ 23-8609

商工課 ☎ 33-1513

特別弔慰金を支給

受付は3月31日まで

戦没者などの遺族で、平成7年4月1日現在、公務扶助科、遺族年金などの受給権をもつ遺族がいない方で、未請求の方に特別弔慰金を支給されます。

受付期間は、3月31日まで。請求手続きがまだの方は、お問い合わせください。

☎福祉総務課 ☎ 33-1863

中小企業のための融資制度

対象 市内に1年以上事業所などを持ち、現在営業している中小企業者。個人事業主は市内に1年以上住み、1年以上同一事業を営んでいる方

融資制度 中小企業小口資金／中小企業中元歳末資金／大型店対策特別資金／事業所立地適正化資金／緊急経営安定特別資金

※資金ごとに使途、貸付限度額、返済期間、利率、申込先などが異なります。融資制度と併せて信用保証料補助制度もありますので、ご利用ください。

☎商工課 ☎ 33-1511

梅干コンクールの結果

小田原梅干コンクールの審査会が1月23日に梅のセンターで開かれました。このコンクールは特産品である梅の消費拡大とイメージアップのために開かれています。

今回は、普通の梅干132点、工夫した減塩梅干13点の応募がありました。これらを姿、味、色などの基準により審査がされ、34点の入賞が決まりました。

優秀受賞者（敬称略）

- ・県知事賞 穂坂珠美（曾我別所）
- ・市長賞 菅沼桂子（曾我原）
- ・市議会議員賞 菅沼重雄（曾我原）
- ・農業委員会賞 野地孝雄（田島）
- ・梅の里づくり推進協議会賞 柏木洋子（上曾我）

☎農政課 ☎ 33-1491



建築物防災週間

3月1日(日)～7日(土)

小田原市では、東海地震や神奈川県西部地震の発生が心配されています。建築物防災週間に市では、多くの人が利用する建築物を対象に、避難施設などの安全点検や、耐震診断、耐震改修などの普及・啓発を行います。

また市では、木造住宅の耐震診断費用の補助や防災相談を受け付けていますので、ご利用ください。

☎建築指導課 ☎ 33-1433

公共下水道に接続を

下水道は、家庭や工場などから出る汚れた水をきれいにし、自然にもどします。下水道に皆さんが接続することで、川や海の水質が守られます。

下水道処理区域内（いつでも下水道に接続できる区域）で下水道に接続していない方は、早めに接続してください。接続には無利子の貸付金や補助金の制度があります。

☎下水道総務課 ☎ 33-1614

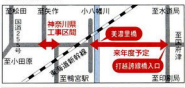
生まれ変わる巡礼街道

巡礼街道の西端には坂東3観音5番札所として有名な飯泉山勝福寺があり、当時は巡礼者の多くが往来していたので、「巡礼道」という古称があります。

そこで、平成5年度から行っている巡礼街道の道路工事は、歩道に素粘土土の風合いをいかした自然風ブロックの舗装をし、連続的に植栽樹を置いて、やすらぎとうるおいが感じられるようにしています。さらに案内板を設置するなど、「巡礼道」という古称にふさわしく、また、市民に親しまれるよう整備していきます。生まれ変わる巡礼街道にぜひお越しください。

なお、今年度の巡礼街道の工事は、県施工分をのそき完了しました。来年度で全線が完成します。

☎道路建設課 ☎ 33-1543



市議会3月定例会の予定

3月定例会は2月24日(火) から3月26日(木)まで開かれる予定です。本会議は午前10時開会。代表質問項目一覧を2月末から支所・連絡所と図書館で配ります。

主な会議

- 2月24日(火) 本会議（施政方針演説・提出議案説明など）
- 3月3日(火) 本会議（各会派代表質問）
- 4日(水) 本会議（各会派代表質問）
- 5日(木) 本会議（各会派代表質問）
- 11日(水) 予算特別委員会
- 12日(木) 予算特別委員会
- 13日(金) 予算特別委員会
- 16日(月) 予算特別委員会
- 17日(火) 予算特別委員会
- 19日(木) 予算特別委員会
- 26日(木) 本会議（予算特別委員会審査結果報告）

☎議会事務局 ☎ 33-1761

個人事業者の消費税の確定申告

個人事業者の消費税の申告と納税は、3月31日(火)までです。平成7年分(基準期間)の課税売上高が3,000万円を超える個人事業者は、消費税の申告が必要です。平成9年分の確定申告書から、申告書に付表を添付することになりましたので、注意してください。

税務署と税理士会では、消費税と所得税の同時相談を行っています。お気軽にご相談ください。

☎ 小田原税務署個人課税第1部門

☎ 35-4511内線412

小田原市総合計画審議会が答申

小田原市総合計画審議会は、市から新総合計画の基本構想案・基本計画案の諮問を受け、約半年にわたり慎重かつ精力的に審議してきました。そして、1月19日に市長に答申をしました。

答申では、新総合計画案を21世紀初頭までを見通したまちづくりの指針としておむね妥当であると判断しています。

小田原市総合計画審議会委員(敬称略)

会長 大野貢一(市議会議員)

副会長 野地博(市自治会総連合会長)

相川正義、大曾根善治、小林俊夫、関野隆司、中島春子、二見健一、守屋喜代松(以上市議会議員)、井上嘉夫(商工会議所会頭)、栗田康宏(青年会議所前理事長)、榎野典子(市母親クラブ連絡会会長)、志村健三(市老人クラブ連合会会長)、橋本正俊(西湘地区行政センター所長)、諸星照美(小田原・足柄地域連合議長代行)、石井敬(愛知県立芸術大学名誉教授)、小笠原幸枝(小田原女子短期大学学長)、後藤春彦(早稲田大学理工学部助教授)、昌子住江(関東学院大学工学部助教授)、松村みち子(タウンクリエーター代表)

☎ 企画政策課 ☎ 33-1253



交通災害共済制度

市では、万一交通事故でけがをしたときに、皆さんがお互いに助け合う交通災害共済制度を設けています。

見舞金請求の対象 国内で起きた自動車・原動機付自転車・自転車などの事故で、医師などの治療が1週間以上あったとき。

自転車での単独転倒でも事故になります。このときも警察に届けてください。

掛金 16歳以上500円/16歳未満300円

見舞金

・死亡のとき100万円

・医師などの治療を受けたとき

1年以上25万円/6か月以上13万円

3か月以上7万円/1か月以上3万円

1週間以上2万円

共済期間 4月1日～翌年3月31日

※4月2日以降に加入のときは、掛金を納めた日からその日の属する年度末まで

加入申込 市民生活課(市役所2階)、支所・連絡所、マロニエ(住民窓口)で、いつでも加入できます。

※2・3月の更新時には、各自治会で、平成10年度分の加入を取りまとめています。

☎ 市民生活課 ☎ 33-1851

最低賃金の改正

最低賃金は、すべての労働者に適用され、事業主はこれ以上の賃金を支払わなければならない。地域別最低賃金と産業別最低賃金が同時に適用されるときは、高い方の金額以上を支払わなければならない。

☎ 神奈川労働基準局 ☎ 045-211-7354

小田原労働基準監督署 ☎ 22-7151

地域別	最低賃金の件名	最低賃金額	
		1日	1時間
神奈川県	神奈川最低賃金	5,368円	677円
	金属製造業	6,312円	791円
	鉄鋼業	6,174円	772円
	非鉄金属・合金全延延業	5,914円	743円
産業別	電線・ケーブル製造業		
	ボイラ、原動機、建設機械・		
	鉱山機械、金属加工機械、	6,108円	767円
	一般産業用機械・装置製造業		
	電気機械器具製造業	6,007円	756円
	輸送用機械器具製造業	6,061円	761円
	自動車小売業	6,060円	761円

●住宅用地と工業用地を公売中

市が造成した成田・桑原土地区画整理事業区域内の土地を先着順に公売しています。

なお、土地の内訳(別表)は2月1日現在の状況です。詳しくはお問い合わせを。

☎ 工業団地整備事務所 ☎ 33-1507

FAXでも情報提供しています。

おだわくらしのテレフォンガイド

☎ 33-1266 サービスコード405

No.	地 積	価 格
2	216.70㎡(約65坪)	39,331,000円
住 4	273.79㎡(約83坪)	49,692,000円
宅 6	187.23㎡(約57坪)	33,982,000円
7	202.66㎡(約61坪)	36,782,000円
工 業 ①	1,273.49㎡(約385坪)	204,556,000円
②	1,002.21㎡(約303坪)	178,869,000円

2月は省エネルギー月間

家庭でできる冬の省エネルギー

冬のエネルギー需用は年々増加し、夏と並んで、エネルギー消費の最も多い時期です。皆さんも省資源・省エネルギーにご協力ください。

●部屋の温度は適温ですか?

厚手のカーテンや、カーベットを使い、暖房温度を1度下げることにより、全国では約43万世帯分の年間エネルギー使用量の節約になります。

●暖房機器のじょうずな活用を

暖房機器は、使い方に合ったものを購入し、日ごとの手入れをきちんとすることで、効率のよい暖房ができます。設置場所や風向きを工夫することでも、より効果的に使えます。

●シャワーを流しっ放しにしないでませんか

全国のお家庭でシャワーのお湯を1分間流しっ放しにすると、1年に東京ドーム約200杯分のお風呂が沸かせるほどの石油がむだになります。

●断熱材のじょうずな活用を

住宅の新築や改築のときには、天井、壁、床下などに断熱材を入れたり、窓を2重ガラスにすることで、暖房経費が節約できます。

●太陽の恵みを利用

天気の良い日には、カーテンを開け太陽熱を取り入れたり、太陽熱温水器を利用するなどして、エネルギーの節約に努めましょう。

☎ 環境総務課 ☎ 33-1473

合併処理浄化槽設置の補助

市街化調整区域に、個人住宅用の合併処理浄化槽を設置するときは、補助金の制度があります。

☎ 環境保全課 ☎ 33-1481



募集

人員、作品、参加者の募集など

北條五代祭り 武者行列の参加者

5月3日(祝)の北條五代祭り武者行列に参加しませんか。

募集人員 男女各30人・先着順

①男子 役柄は、各隊(槍持・旗持・足軽侍)を中心に編成

②女子 女武者隊特別編成

応募資格 16歳以上の方(用意された衣装を着ることができる方)

参加料 1人3,000円(衣装代の一部負担)

申込方法 住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、現金書留で3月26日(木)までに郵送。または直接

申込 千250・0014 小田原市城内1-21
小田原市観光協会 ☎ 22-5002

動く市政教室の参加団体

魅力あるまちづくりを市民の皆さんと考えるため、自治会やサークルなどの団体を対象に公共施設見学会を開いています。本市の消防、防災の要である消防本部、皆さんのご協力でごみの減量・資源化を進めている環境事業センター、スポーツだけでなく多目的ホールとしてもご利用いただける小田原アリーナなどを見学してみませんか。お気軽にお申し込みください。

4月～6月の募集日

4月 17・21・22・24・28

5月 8・12・13・15・19・20・26

6月 2・3・9・16・17・19・23

2つ以上の団体が同じ日を希望した場合は抽選となります。

申込 2月27日(金)までに、
広報広聴課 ☎ 33-1263

心理相談員(非常勤職員)

市の教育相談指導学級で、児童・生徒のカウンセリングなどを行う心理相談員(非常勤)を募集します。

募集人員 1人

勤務日時 週4日 午前8時30分～午後5時

勤務場所 市役所教育相談指導学級

応募資格 大学または大学院で心理学を専攻し、臨床経験のある方(カウンセラー・臨床心理士の資格があればより望ましい)

報酬 市の規定による

申込 2月27日(金)までに、
教育研究所 ☎ 33-1727

かながわ・ゆめ国体ボランティア ODAWARAゆめサポーター

10月の国体に向けたボランティアスタッフを募集します。

対象 市内在住・在勤・在学の方(義務教

育修了者)

募集区分

○イベント運営スタッフ 30人

北條五代祭りなど各種イベントでの国体キャンペーン参加

○事務局補助スタッフ 20人

実行委員会事務局での広報・市民参加などに係る事務補助

○広報記録スタッフ 若干名

各種国体関連行事での記録写真撮影

募集期間 2月16日(月)～3月31日(火)

応募方法 電話にて照会を。応募希望者には事務局から申込用紙を送ります。

☎ 国体推進課 ☎ 33-1661

市立病院臨時職員

職種 看護婦・准看護婦、理学療法士、作業療法士、看護婦の夜間勤務専門(病棟)

[準夜勤午後4時～午前0時30分・深夜勤午前0時～8時30分](応相談)

賃金 市立病院の基準による

☎ 病院総務課 ☎ 34-3175 内線604

健康

保健センター ☎ 47-0820

休日診療カレンダー

	内科	小児科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科
2月15日(日)	○	○	○	○	○
22日(日)	○	○	○	○	○
3月1日(日)	○	○	○	○	○
8日(日)	○	○	○	○	○
15日(日)	○	○	○	○	○
21日(土)	○	○	○	○	○
22日(日)	○	○	○	○	○
29日(日)	○	○	○	○	○

場所 保健センター

受付 午前9時～11時30分

午後1時～3時30分

健康保険証をお忘れなく

準夜間診療(内科・小児科)の受付は、

毎日午後7時～10時

●休日夜間急患診療所 ☎ 47-0823

●休日急患歯科診療所 ☎ 47-0825

●休日夜間急患調剤薬局 ☎ 47-0826

予防接種

ツベルクリン反応とBCG

日程 3月9日(月)ツベルクリン反応

11日(水)判定とBCG

時間 午後1時30分～2時30分

場所 保健センター

対象 0か月～3歳11か月児

インフルエンザに注意を!

インフルエンザ流行の季節。

予防のため、手洗い、うがいを!



・小田原駅東口
2月17日(火)・23日(月)
3月4日(水)・10日(火)・19日(木)・23日(月)
・下曽我公民館
3月7日(土) 2号
時間 午前10時～正午・午後1時～3時30分
(下曽我公民館は、午前10時～正午・午後1時～3時)
37-25

3月の乳幼児健康診査など

受付時間 午後1時～2時

場所 保健センター

持ち物 母子健康手帳

*1歳6か月児は歯ブラシ

*新しくくすくすベビークラスはスプーンと歯ブラシ

4か月児健診	平成9年 11月生	5日	12日	26日	
8～9か月児 健診	指定医療機関 無料 受診票は後日送付します。				
1歳6か月児 健診	平成8年 8月生	6日	13日	19日	25日
3歳児健診	平成6年 8月生	3日	10日	17日	
マタニティ クラス	2日	13日	19日	23日	30日
	午後1時20分～（30日は午前9時30分～）				
新しくくすくす ベビークラス	16日	保健センターまで電話申込 6～7か月児と保護者 受付/午前9時30分～40分			
定例育児相談	11日	毎月第2水曜日 受付/午前9時30分～11時			

機能訓練会

平成10年4月から脳卒中後遺症の方を対象に、月2～3回程度、機能訓練会を開きます(1年コース)。手工芸、レクリエーションなどを通して機能改善を図ることが目的です。参加希望の方は保健センターへお問い合わせください。

お知らせ

市・官公庁からのお知らせ

申告書の様式が変わります

所得税の確定申告書(一般用・年金用・分離用)、青色決算書収支内訳書がOCR用のものになります。OCR用の申告書はリキットです。丁寧に記入してください。折り曲げたり、汚したりしないでください。

☎ 市民課 ☎ 33-1351

暮らしを考える消費者のつどい

①暮らしの問題交流セミナー

日時 2月26日(木)午後1時30分～3時30分

テーマ 遺伝子組み換え食品の安全性

内容 消費者、事業者、行政で意見交換
助言者 科学ジャーナリスト・川口啓明さん

②消費者団体活動展

日時

・2月25日(水)午後1時～5時

・2月26日(木)午前9時～午後4時

内容 西湘地区消費者団体の活動内容について展示

場所 ①②とも小田原合同庁舎

■小田原消費生活センター ☎ 22-1151

内線252

園芸教室 洋ランの育て方

洋ランのじょうずな管理のポイントを、教材を使いながら説明します。ご家庭の洋ランについての質問があれば、持ち込んでご相談ください。

日時 3月7日(土) 午後1時30分～3時

場所 フラワーガーデン

参加料 500円 (植替教材用洋ラン苗)

定員 50人・先着順

■申込 フラワーガーデン ☎ 34-2814

洋らん展

市内同好会の洋ランの展示会です。

日時 3月4日(水)～8日(日)

午前9時～午後4時

場所 フラワーガーデン

※草花の即売会は2月22日(日)

きらめき☆おだわら塾
健康・スポーツ講座

■小田原駅前ふらっとスポット

3月7日(土)午後1時30分～3時

「人はなぜ病むのか—東洋医学に学ぶ—」

・定員30人

3月8日(日)午前10時～11時30分

「じょうずに食べよう—元気な暮らしのために—」

・定員30人

3月8日(日)午後1時30分～3時

「知っておきたい薬の知識」・定員30人

■小田原アリーナ

3月7日(土)午前10時～11時30分

「気功太極拳」・定員20人

3月7日(土)午後3時～4時30分

「初めてのジャズダンス」・定員20人

3月8日(日)午前10時～11時30分

「体がつらい人のためのやさしい健康法」

・定員20人

3月8日(日)午後1時30分～3時

「足心道(足もみ健康法)」・定員20人

■小田原テニスガーデン

3月8日(日)午後1時～3時

「中高年のための硬式テニス教室(初級

・中級コース)」・定員各10人

■社会教育課 ☎ 33-1720

青年のつどい

印度にドップリ浸ろう

青年層の仲間づくりを進める青年のつどい。「カレーなる印度の教え」をテーマにインド人講師によるカレーづくりとインド伝承医学のアユルヴェーダの教えを実践します。

ほかにも楽しい企画を用意していますので、この機会にインドにドップリ浸ってみてください。

日時 3月29日(日)午前9時30分～午後5時

場所 中央公民館

対象 18歳～概ね30歳

定員 30人・先着順

参加料 2,000円

講師 ロイチョウドウリー・ジョイさん他

■青少年課 ☎ 33-1724

暮らしの大学

期日・テーマ (1日のみの参加可)

3月10日(火) 菜とその上手な飲み方

12日(木) 暮らしに彩りを～カラー

コーディネートを楽しむ

13日(金) 暮らしやすい住まいづくり

～バリアフリーについて考える

17日(火) 衣料品の正しい取扱法

18日(水) 金融ビッグバンで暮らしは

どう変わるか

時間 午後1時10分～3時10分

場所 小田原合同庁舎

定員 70人・先着順

■2月16日(月)から、

西湘地区行政センター ☎ 22-1151

内線252

体験学習

わらぞうりを作ろう

日時 2月22日(日)午前9時30分～午後4時

場所 郷土文化館

対象 小学4年生・30人・先着順

講師 栢山ふれあい農園・管我保夫さん

参加料 350円(教材費)

■2月15日(日)から、

郷土文化館 ☎ 23-1377

スポーツ

各種スポーツ大会・講習会など

トレーニングルーム
利用者講習会

それぞれ利用する施設での講習が必要ですが、事前に申し込みをして受講してください。

日時

■小田原アリーナ ☎ 38-1144

対象 中学生以上(中学生は保護者同伴)

・午前9時30分～11時

3月1日(日)・11日(水)・21日(土)・29日(日)

・午後6時30分～8時

3月3日(火)・19日(木)・27日(金)

■スポーツ会館 ☎ 23-2465

対象 16歳以上

・午後6時30分～8時

2月18日(水)・28日(土)

歩け歩け

片瀬道、江ノ島道コース・12km

日時 3月8日(日) 雨天中止

集合 小田原駅東口に午前9時

参加料 300円(交通費別、弁当持参)

■歩け歩けの会・鈴木 ☎ 22-5241

酒匂川スポーツ広場

ソフトボール場のご利用を

冬季の芝の養生のため使用中止となっていたソフトボール場が、3月1日(日)からご利用になれます。

■小田原アリーナ ☎ 38-1144

学校体育施設の利用登録を

平成10年度に小中学校の体育館の利用を希望する方は、3月8日(日)までに小田原アリーナで登録をしてください。

登録方法

○継続登録を希望する方 登録証と会員名簿(会員の氏名・住所・電話番号を記したものを)を持参してください。

○新規の登録を希望する方 市内在住、在勤者10人以上で構成するグループをつくり、利用を希望する学校長の承認を得た後に、名簿を添えて登録してください。

■小田原アリーナ ☎ 38-1144



2月20日(金)～22日(日)

3月3日(火)～5日(木) 12日(水)～17日(火)

事業課 ☎ 23-1101

イベント

各種催しものなど

銅門内覧会

4月のオープンに先立ち、内覧会を開きます。市芸芸員のガイドにより、いち早くあなたは小田原城博士。



日時 2月22日(日) 午後1時～2時

定員 100人・抽選

申込方法 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて送付。1枚で2人まで申し込みできます。

申込 2月17日(火)(必着)までに、〒250-8555小田原市役所広報広聴課(住所は必要ありません) ☎ 33-1261

とれたての魚をどうぞ 小田原・港の朝市

3月7日、14日、28日

場所 小田原漁港 西側岸壁

時間 鮮魚は午前9時～

鮮魚以外は午前8時30分～

小田原市漁協 ☎ 22-6617

小田原の朝市・目玉商品はみかん

生産者とふれあえる朝市。

日時 2月22日(日) 午前8時～正午

場所 市役所前庭

内容 農産物販売・フリーマーケット

☎ 商工課 ☎ 33-1515



おだわらシルバーク大学文化祭

2月21日・22日 マロニエで開催

学生の皆さんによる歴史・伝承文化・まちづくりなどの研究発表、紙芝居・手品の公演、和織し本や手品の教室などに加え、京唄子さん、久能靖さんの講演会もあります。楽しいことが盛りだくさん。詳しくは

広報2月1日号14ページをご覧ください。

■京唄子さん講演会

「人生はまわり舞台～花も嵐も踏み越えて～」

日時 2月21日(土) 午後3時～4時

定員 300人・先着順

■久能靖さん講演会

「話力・接し方」

日時 2月22日(日) 午前11時～正午

定員 300人・先着順

場所 マロニエ

申込 社会教育課 ☎ 33-1712



京唄子さん



久能靖さん

本のリサイクルフェア

図書館で不要になった本や市民の皆さんからいただいた本・雑誌を差し上げます。

日時 2月21日(土)・22日(日) 正午～午後4時30分(入場は4時まで)

場所 かもめ図書館

内容 小説・エッセイ・文庫・趣味の本・子供向けの本・雑誌など1人5冊まで。30分ごとに入場者の総入れ替え。開場1時間前より整理券を配布。

昨年第1回を行い、好評をいただきましたが、大変混雑しましたので、お車でのご来館はご遠慮ください。

☎ かもめ図書館 ☎ 49-7800

消防フェア

「防火・防災」情報がいっぱい。はしご車・起震車体験、煙体験、ちびっこ救助体験などのデモンストレーションがあります。

日時 3月7日(土) 午前10時～午後4時

場所 ガイドプラザ西側広場

☎ 消防本部予防課 ☎ 49-4424

春の火災予防運動

3月1日～7日

つけた火はちゃんと消すまであなたの火ふせごう！ なくそう！ 車両・船舶火災

明るい選挙書道作品コンクール

小学校5年生対象のコンクール。書道を通して選挙のあり方、選挙の大切さを知ってもらおうと、毎年開催され今年で19回目。入選作品50点を展示します。

①2月16日(月)～3月2日(月) 市役所2階 市民ロビー

②3月6日(金)～17日(火) マロニエ

☎ 選挙管理委員会 ☎ 33-1742

こども

児童対象の行事など

中央公民館スタジオブラザ

きょうは楽しいひなまつり

日時 2月28日(土)

① 午前10時～正午

② 午後2時～4時

場所 中央公民館

内容 身近な材料を使ったひな人形作り、絵本の読み聞かせ、歌など

定員 各70人・先着順(開始30分前から)

☎ 中央公民館 ☎ 35-5300

アニメ

A) かもめ図書館会場

時間 午後1時30分～

定員 180人・先着順

プログラム

① 2月22日(日) ランボーの秘密(15分) ハクちゃん行進曲(児童劇46分)

② 3月1日(日) ウーフはおしっこでできてるか? くまの子ウーフ(18分)、杜子春(22分)

☎ かもめ図書館 ☎ 49-7800

B) 中央公民館会場

日時 3月14日(土)

① 午前10時～正午 ② 午後2時～4時

定員 各70人・先着順

プログラム 母をたずねて三千里

☎ 中央公民館 ☎ 35-5300

つくってあそぼうペットボトルのひこうき

日時 2月28日(土)

午前9時30分～11時30分

場所 かもめ図書館

対象 4月に小学校の新1年生になる子と

親・20組・先着順

申込 2月15日(日) から、

市立図書館 ☎ 24-1057

講座・教室

各種セミナー、講習会など

労働問題講演会 男女雇用平等推進事業

テーマは、「男も女もいっしょ・仕事と介護の両立を考える」。

日時 2月28日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 中央公民館

講師 鎌倉市社会福祉協議会登録ヘルパー・中田光彦さん

定員 100人・先着順

託児 2歳以上就学前まで(2月20日まで予約を)

☎ 市民生活課 ☎ 33-1854、西湘地区行政センター労働課 ☎ 22-1151内線283

広報 **おだわら**
February 15, 1998 No.717

message



市内のお菓子屋さんのぞくと、店先には、小田原特産の梅を使つたものなど、四季を彩る美しい和菓子がたくさん並んでいます。小田原のまちに梅の香りが漂う2月、毎年、菓子展示会が開かれ、市内の菓子職人が自慢の腕を披露します。小田原の豊かな自然がはぐくんだ美しい菓子の花たちは、きっと訪れる人々をもてなしてくれるはずですよ。

豊かな自然がはぐくむ菓子の花

梅香る招福のまち



菓子展示会

2月20日～22日

市内のお菓子屋さんが多数参加し、自慢の和洋菓子を展示即売します。見どころは、菓子職人が創作した「かざり菓子」。細かなところまでよく見てみると、職人技のすばらしさを感じることができます。

また、会場内にお茶席を設けましたので、自慢の和菓子和抹茶をお楽しみください。そのほか、レトロ菓子の即売もあります。子供のころ、駄菓子屋さんに並んでいた懐かしいお菓子が見つかるかもしれません。

日時 2月20日(金)～22日(日) 午前10時～午後5時(22日は4時30分まで)

場所 市民会館

☎ 商工課 ☎ 33-1513

安政3年(1856)、城主大久保忠愍から新しい菓子を作るように命じられた平井兵衛は、小田原の特産である梅干を菓子にすることを思いつきました。これが、小田原名物・甘露梅の始まり。極上の梅干あんで淡紅色のさくらうひで包み、梅酢につけた赤じそでさらに巻いたこの菓子は、上品な味で風味がよく、酸味はことのはか満足されたと言われています。甘露梅は、赤じその風味が大切。小田原は梅干作りが盛んであったため、農家では赤じそを昔から栽培していました。赤じその煮方次第で、味が決まるのだそうです。今でも、市内のたぐさんのお菓子屋さんでは、一粒一粒、手作りで作っています。

小田原名物・甘露梅

豊臣秀吉は、小田原攻めの際、千利休を招いて茶会を開いたとのこと。四季折々に茶会が開かれた小田原は、幕末の城主・大久保時代に「茶の文化」が花開きました。茶の湯を好んだ大久保城主は、城に納める菓子を作る商人の位を高くしたため、京都や江戸から優れた菓子職人が小田原に集まってきたと言われています。京都の雅な文化と江戸の粋な気質、そして小田原の恵まれた自然環境が、たぐさんのすばらしい菓子を作る下地になっているのです。

小田原の和菓子物語

